

ワンウェイパレットの使用による拘束時間短縮検討 徳島県

1. 実施者の概要

- 発荷主
徳島県の農業協同組合。京阪神の市場を中心に農産品を出荷している。一部関東の市場向けにも出荷しており、本件の対象となる輸送は徳島発神奈川行きの輸送である。
- 元請運送事業者
兵庫県に本社を置く運送事業者。徳島県にも営業所を設置し自社トラックにて、本件農産物を着荷主に納品している。
- 着荷主
神奈川県に本社を置く大手青果物卸売り事業者

2. 事業概要

これまでの取組

- ・集荷センターの新築により、出荷作業スペースを拡張し荷揃え時間の短縮を実現(元請運送事業者集荷センター作業員の作業時間削減)
- ・車両の駐車スペース(荷積みが行えるスペース)拡張により積込み作業時間、待ち時間の短縮を実現(ドライバーの拘束時間削減)

今回の取組

・ワンウェイパレット使用の検討

荷揃えの際には発荷主構内用のパレットから着荷主納品用のパレットに手作業で積み替える必要がある。トラックが集荷センター到着時には、通常荷揃えが完了しているが、そうで無い場合もあり、その対策として、安価であり返送の必要が無いワンウェイパレットの使用を検討した。

・モーダルシフトの検討

発着ともに荷主施設での待ち時間は少なく、ドライバーの拘束時間をほとんどを運転時間が占めている。そこで、鉄道、船舶でのモーダルシフトを検討した。



旧集荷センター



新集荷センター



ワンウェイパレット

3. 課題

- ① 農産物サイズ、階級が多く仕分作業が煩雑で、かつ、集荷センター内作業では構内用パレットが使用され、基本的にはトラック到着前にその作業は完了しておりドライバーの拘束時間に影響しないが、一方でトラック積載時にパレットの積替えを実施していることがある。
- ② 長距離輸送のため運転時間長く、根本的に拘束時間削減が実現しにくい

4. 事業内容

- ① トラック到着後にパレットの積替え作業を行わないようにワンウェイパレットの使用を検討いただいた。ワンウェイパレットの使用は今回が初の検討となるため、実運送で使えるかどうかを検証した。
- ② ドライバーの運転時間削減をめざしモーダルシフトを検討した。

5. 結果

- ① ワンウェイパレットは現行納品用パレットとサイズが異なるため、パレットへの積載方法とトラックへの積載方法について具体的に検討いただいた。
- ② 本件の着荷主への輸送については、他の荷主との積み合わせ等の課題が多くワンウェイパレットの使用は見送られたが、他の輸送において試験的に使用することとなった。
- ③ 鉄道や船舶へのモーダルシフトの検討により、リードタイムやコスト面での課題を明確化し検討会メンバーで共有した。

6. 荷主企業のメリット

- ① モーダルシフト実施の検討のきっかけとなった。

7. 結果に結びついたポイント

- ① 発荷主は施設も改善を実施するなど、ドライバーの拘束時間削減に対する意識が高いこと。
- ② 発荷主・運送事業者の協力のもと、ワンウェイパレットの使用検討が実施できたこと。
- ③ 着荷主もドライバーの拘束時間削減に意欲的であり、パイロット事業に対して協力的であったこと。